

## 第3学年1組 道徳科学習指導案

第3学年1組 32名

授業者 沼田 真千子

- 1 主題名 相手を思いやる心 B－(6) 親切, 思いやり
- 2 ねらい 困っている人の気持ちになって手助けをすることができた「ぼく」の気持ちを考えることを通して、相手の気持ちや立場を想像し、進んで親切にしようとする道徳的心情を育てる。

### 3 防災の視点 (※)

スーパーでのミネラルウォーターをめぐる出来事を示した教材を通して、災害にあった人の気持ちや立場になって考え、親切にしようとする態度を育てる。(B)

- 4 教材名 「スーパーの店先で」(出典:彩の国の道徳「心の絆」)

### 5 主題設定の理由

#### 【道徳的価値について】

他者と関わりながら生きていく上で、自分のことばかりを考えていては望ましい人間関係を築くことはできない。相手の立場や気持ちを考えながら行動できることが大切である。特に、困っている人や助けを必要としている人に対して、その気持ちを思いやり、親切な行いをしようとする態度は、より豊かな人間関係を構築する上で重要である。しかし、相手のために行動したいと思っても、恥ずかしさや迷いから行動できないこともある。このようなとき、行動に踏み出す支えとなるのが思いやりの気持ちである。相手の状況をしっかりと見つめ、自分のこととして置き換えて考えることで相手の気持ちが想像でき、恥ずかしさや迷いを乗り越えることができる。さらに、相手のことを思いやって行動したことに対して、相手が喜ぶ様子を感じ取ることで、自らも充足感を味わうことができると考える。

#### 【児童の実態】

本学級の児童は、人に対して優しく、親切に行動しようとする児童が多い。困っている友だちがいると、声かけしたり手助けしたりしようとする姿が見られる。しかし、親切にする対象が身近な人に限られていたり、親切にするつもりで行動したことが、相手の気持ちをくみ取るまでにはいたっていなかったりすることも多い。相手から「自分でしようと思っていたのに。」「勝手にさわらないで。」などと言われてしまいトラブルになることもある。また、相手との関係性や自分自身のおかれた状況などによっては自己中心的な考え方や行動をしてしまう児童もいる。さらには、親切にしたい気持ちはあっても、どのような行動をすればよいのかわからない児童もいる。自分で考えて行動する力はまだ十分には育てていない。

#### 【教材について】

本教材は、東日本大震災の後、すぐに売り切れてしまうミネラルウォーターを買いに行った「ぼく」が、自分の買ったミネラルウォーターを他の人に譲るお話である。津波の被害を受けた親戚のために、少しでも多くの水を届けたいと、店の人に真剣に頼んでいる男の人の姿に心を動かされ、行動に移す「ぼく」の姿が描かれている。恥ずかしくて募金もできなかった「ぼく」の気持ちの変化について話し合うことを通して、相手を思いやることの大切さについて考えることのできる教材である。

#### 【指導にあたって】

震災後の物が不足していた状況について説明を加えながら押さえる。販売数を制限せざるを得なかった店の人の立場や男の人の思いを整理しながら、「ぼく」の気持ちについて話し合えるようにする。母親に勧められた募金はできなかったが、男の人の立場や気持ちを理解したことで親切な行いができた「ぼく」に共感させたい。そして、人を思いやるということは、その相手だけでなく、自分にとっても喜びとなることに気づけるようにする。相手の立場や思いを大切にしようとする気持ちを育てることにつなげたい。

## 6 学習展開

学習活動		主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 防災の視点 (※)
導入	1. 写真を見て話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごく長い行列だな。</li> <li>・何をかうために並んでいるのかな。</li> </ul>	○東日本大震災後、水や食料などを買い求めるためにできた行列の写真を見せ、教材への関心を高める。
展開	2. 教材を読み、「ぼく」の気持ちについて話し合う。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恥ずかしくて募金ができなかったとき</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">お母さんに募金を勧められたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが見ていて恥ずかしいな。</li> <li>・他にもしていない人がいる。</li> </ul>	○募金することへの恥ずかしさや戸惑いに共感させる。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手にした二本のミネラルウォーターをじっと見つめているとき</li> </ul>	<div style="border: 3px double black; padding: 5px;">二本のミネラルウォーターをじっと見つめている「ぼく」は、どんなことを考えていたのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんなに落ち込んでいてかわいそうだな。</li> <li>・お母さんにたのまれているし、困ったな。</li> <li>・どうしたらいいんだろう。</li> <li>・ぼくの分をあげようかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男の人の思いや店の人の立場を整理しながら、「ぼく」の気持ちについて考えられるようにする。</li> <li>○募金ができなかった「ぼく」が、自分のミネラルウォーターを男の人にあげられたのはどうしてかと問うことにより、困っている人のために考えて行動できたことに気づかせる。</li> <li>※災害にあって困っている人の気持ちや立場を想像させ、自分にできることを考えたり、親切にしようとしたりする態度を育てる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何度も頭を下げて喜んでくれた男の人を見送っているとき</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">男の人を見送っている「ぼく」は、どんな気持ちだったのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんなに喜んでもらえてうれしい。</li> <li>・いいことができてよかった。</li> <li>・これからもこんなことがしたいな。</li> </ul>	○自分の気持ちを伝えられた満足感や心が温かくなった様子を感じ取らせる。
終末	3. 本時の感想を書く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">今日の学習で思ったことや考えたことを書きましよう。</div>	○困っている人に対して親切にした「ぼく」の行動に対して、自分の感想を書けるようにする。

## 7 評価

相手の気持ちや立場を想像し、進んで親切にしようとする大切さに気づくことができたか。